

あいな

No.141
2023.05.01

生活クラブ京都
エル・コープ機関紙
発行責任：理事会
編集責任：広報委員会
組合員数：6,677名
(2023.3.20現在)

再エネ推進プロジェクト

3.11を境に立ち上がった 福島県の再エネ生産者を巡る バーチャルツアー

2月15日、飯館電力の千葉さんと米澤さんに、2011年の原発事故をきっかけに再生可能エネルギーで福島の復興に立ち上がった人たちのお話を伺いました。

オンラインで自宅に居ながら、再生可能エネルギーがつくられている現地の様子や生産者の想いを聞くことが出来るバーチャルツアーは、2021年9月に開催した第1弾に続く第2弾の開催で、お2人がIT企業で働いていた経験が活かされていて、参加者を楽しませる工夫を随所に取り入れながらも、登場する人たちが困難の連続を乗り越えて再生可能エネルギーの生産者になられた想いと「脱原発」への執念が伝わってきました。

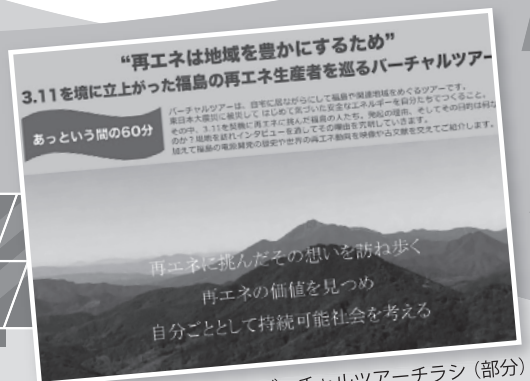
また、世界各地で再生可能エネルギーの普及が進んでいる現状も見せていただき、それにも関わらず岸田政権がエネルギー基本計画を突然変更し、原発推進へと回帰していることに言及された時の、幾つもの困難を乗り越えてきたからこそその悔しさと憤りが入り混じったような表

情に目頭が熱くなる瞬間もありました。

放射能によって汚染され、6年間全村避難を余儀なくされた飯館村には現在、49ヶ所の太陽光発電があり、そのうちの2ヶ所が「生活クラブでんき」です。

生活クラブには国内に66ヶ所の再生可能エネルギーの発電所があり、現在発電に向けて工事が進んでいる所も数ヶ所あります。

環境や暮らしを壊さないエネルギーが原発ではなく再生可能エネルギーであることは誰の目にも明らかです。2000年には日本より再生エネ比率の低かったドイツは4月に脱原発し、現在46%前後の再生エネ比率ですが、日本は22%前後です。エネルギーを輸入するために20兆円も使われているのも大変もったいない話です。エネルギーの安全保障を高めるためにも、まず私たちは「生活クラブでんき」を使う人を増やし、加入率約4%（生活クラブ全体）をせめて10%にすなくては！と思います。



知ろう! 消費材!

リレー生産者交流会

生活クラブならではの! 生産者交流会を楽しむ10の方法。



4月から始まった「知ろう!消費材!リレー生産者交流会」、すでに参加されたり、お目当ての生産者交流会への参加を楽しみにされている方がたくさんいらっしゃると思います。さて、生産者交流会と聞くと、「生産者に会えて、いろんなお話が聞ける会なのよね」と思ったあなた。半分合っているけど、ちょっと、いやとても、惜しい…。

今回は、京都まで来てくれた生産者とおおぜいの組合員とともに楽しい時間を過ごせる、10の方法をご紹介します。私たちの消費材は、私たちが食べ続けたいものを実現させたものです。私たちが食べ続けるからこそ、生産者もその取り組みに応えるべく生産しています。世に言う「顔の見える生産者」以上のつながりで私たちはいっしょに消

費材を作っています。どんな組合員がどんな思いで食べているのか、どんな生産者がどんな思いで私たちの思いに応えてくれているのか、生産者交流会はそんなお互いの思いを直に確認できる貴重な機会です。ぜひたくさんの組合員とお友達に参加してもらって消費材と交流会の価値を実感してほしいと思います。

①まず、食べてみる

参加する生産者の消費材を事前に、できればご家族やお友達などと食べてみてください。私はちょうどいい塩加減だと思っただけ、息子には味が薄いみたい、などそれぞれに感じたことを共有してみてください。可能であれば、市販の類似品と食べ比べてみましょう。

②消費材のパッケージをじっくり見てみる

パッケージ全体を見て写真やイラストがどんなものなのか、またどんな材料を使っているのかじっくり確認したり、注意書きにどんなことが書かれているのかを改めて見てみてほしいです。パッケージには生産者からのメッセージがちりばめられています。

③その消費材の類似品をまちのスーパーやお店で見てみよう

スーパーや小売店で、その消費材の類似品があるのか探してみよう。見つけたら、パッケージや重さ測らなくても持って来た重さの感じ方など、価格など消費材との違いを見てください。事前に食べて、見て、あなたが何を感じたか、交流会の時に生産者に伝えてみましょう。質疑応答の際でも良いですし、みんなの前で話すのは恥ずかしい…という方は終わったときに話しかけても。生産者は組合員からの生の声を聞けるのとても歓迎してくれます。

④写真を撮る

当日は主催者より撮影についてどこまでがOKなのか、案内があります。撮影可能な範囲でぜひどんどん写真を撮ってください。調理実演など動画撮影が可能な場合もありますが、使用範囲などは主催者からのアナウンスに必ず従ってください。

⑤交流会でいっしょになつたみなさんとおしゃべりする

これ美味しいですね!といった感想や気づきは隣や近くの人と共有してみてください。これもいいけど、〇〇も美味しいのよ、なんておすすめ情報の交換もできるかも。

⑥生産者交流会へは筆記用具やメモを持っていく

当日は配布された資料を見ながら生産者の話を聞きますが、へえ!!と言いたくなる情報がとても多いです。メモできるよう筆記用具のご持参をおすすめします。また質問や聞きたいことがある場合は、メモに書き留めて持参されると聞き逃しありません。

⑦前日までの体調管理と準備もしっかりと!

交流会をまるっとしっかりと楽しむには体調管理や準備も大事。前日はしっかりと寝て、慌てて忘れ物をしないよう、開始時間や交通機関の時刻表を事前に確認しておきましょう。

⑧交流会の感想や感動を周りにシェアしよう

交流会で得た情報や感想、感動など、あなたが交流会で得たことを組合員仲間や組合員でないお友達にもぜひシェアしてください。特に調理や栄養に関してのお役立ち情報などはどんどんシェアしましょう。

⑨その消費材を可能な範囲で食べ続ける

生産者がこんな思いで生産しているのね、ありがたいね、で終わるのではなく、これからも両者の思いを実現できるように、可能な範囲で食べ続けていきましょう。



理事会で承認した「地域政策実行プロジェクト答申」について2月に開催されたアソシエ会議でみなさんにお話しし、エル・コープとして地域政策を進めていくことになりました。前回は、「どうしてエル・コープで地域政策？」「これまでのエル・コープでの取り組み」について説明しました。今回は、「今、課題ととらえていること」と「エル・コープとして考えている、していきたいこと・できること」「子どもをまん中においた共生のまちづくりをおおぜいの参加ですすめましょう」でもどうして『子どもをまん中に』なの？』について、お伝えしていきたいと思います。



3. 今、課題ととらえていること

配送区域が狭いといわれるエル・コープの中でも課題は地域によって本当に違っていることはわかってはいますが、全体的に起こっている問題として「超高齢化」「少子化」「貧富の格差」「セーフティネットの偏り」「地域のつながりの希薄化」「孤育て」「ヤングケアラー」などがあると認識されています。長年マスコミなどでもよく取り上げられているものもありますが、行政や企業などが具体的に解決につなげられていないのが現状です。そして、これらの問題以外にも、私たちは常にこれからの生活に不安にさいなまれています。

4. エル・コープとして考えている、していきたいこと・できること

生活に必要な材について私たちはその時だけよければ良い、ではなく再生産できる持続可能な生産を生産者とともに取り組んできました。この取り組みを今度はまちづくりにもつなげていきたいと考えます。これまでの活動の中でたすけあうことができる地域でのつながりづくり、アソシエやエッコロひろば、エルポークの分け合いグループなどを進めてきました。今後はそのつながりを「子育て・子育てサポートの推進」「たすけあいの具体的な担い手の創出」「福祉複合拠点の建設」を通してより多様に地域に広げていきたいと考えています。

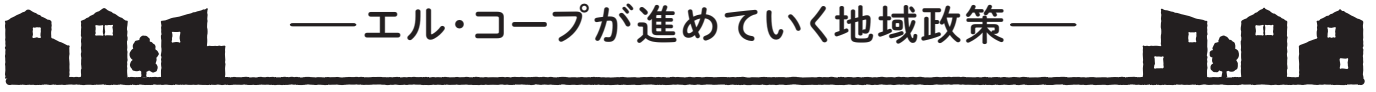
5. 「子どもをまん中においた共生のまちづくりをおおぜいの参加ですすめましょう」でもどうして、「子どもをまん中に」なの？

今年の2月からそれぞれの地域でアソシエ会議の開催を提案、実施してきました。そこへ理事が行って、今回提案する地域政策実行プロジェクトについてお話ししました。このプロジェクトの題名が「子どもをまん中においた共生のまちづくりをおおぜいの参加ですすめましょう」でした。理事会の言いたいことはなんとなくでもわかった、じゃあどうして子どもがまん中なの？高年齢者、シニア世代はどうでもいいの？という声も聞こえてきています。子どもが元気だと、その家族も元気だと思

エル・コープの地域政策って？

「子どもをまん中においた共生のまちづくり」って何だろう

— エル・コープが進めていく地域政策 —



うのです。そして、元気な家族が住まうまちは、まち全体が元気になっています。公園で子どもたちが元気に走り回っている様子は周りの大人を和ませます。そして、子どもが安心して走り回るまちは大人にとっても安心して暮らせるまちだと言えるのではないのでしょうか。そうした観点から、「子どもをまん中に」は子育てに特化してそれだけに取り組むことではなく、子育て・子育てサポートを軸に、子育て世代からシニア世代までの多様な世代、多様な人々が自分らしく生きられるまちづくりに取り組んでいきたいという考えに基づいて提唱しました。

2月のアソシエ会議で出てきたみなさんのご意見をふまえた地域政策実行案を、4月に開催されたビジョンカフェでさらに理解を深めてもらったかと思えます。この実行案を総代会で提案し、承認を得て今度は「共生のまちづくり」に向けて実行していきます。ワーカーズの学習会や福祉施設への見学、先行して活動取り組みされている方を招き学習会開催など、みなさんと色々な可能性を追究していきたいと思えます。この政策はたくさんの組合員の参加がなければ実現できません。一緒にできることを積み重ねて、私たちらしいまちづくりをとに進めていきましょう！



●語り合う場2●

気になる「平和と人権」——みんなで話そう！

好天の祝日、去年はオンラインでの開催だった「語り合う場」の2回目をお庭の素敵なお店「バザールカフェ」で開催しました。参加者は委員を入れて12名。3つのグループに分かれて座っていただきました。

今回は新しい試みに挑戦。「みんなが安心して話すためのルール」を皆さんにお伝えして始めました。

「みんなが安心して話すためのルール」

- ・発言は短めを心がけましょう。
- ・人の発言は最後まで聞きましょう。
- ・人の意見を否定しないことを心がけましょう。
- ・分からないことは質問しましょう。
- ・今日の出会いを楽しみましょう。



まず、「平和と人権」をキーワードに「話したいこと」「気になっていること」を付箋に書いていただき、お隣の方とペアになって自己紹介をします。次に、各自がペアの方を他己紹介します。

同じグループになった人たちのことが少し分かったところで、みんなの付箋のなかで話したい、気になっていることから話し始めます。感じたことや大切だと思ったら、そのつど付箋に書いていきます。

前半が終わったら、グループ替えです。後半のグループでは軽く自己紹介をして、付箋も参考に前のグループで話題になったことなど自由に話します。最後はグループトークで話題になったことを全体で共有しました。




皆さんの「話したいこと」「気になっていること」

- 裁判の記録や歴史を残すという文化が日本には乏しく、加害の歴史を残さないことに繋がっているのではないだろうか？
- 政治に無関心であっても無関係ではられないのに、なぜ政治の話をするスルーされる雰囲気があるのだろうか？
- 死刑についての勉強会をしたい。北欧の厚生プログラムを知りたい。終身刑ではいけないのか？犯罪の背景に社会問題があるとしたら死刑が問題解決につながるのだろうか？
- 「教育」が大切。結果ばかりを求め過程を顧みず、ルールや圧力に子どもたちが萎縮し自分を伸ばすことができない。SNSやフェイクニュースから自分を守るデジタルリテラシー教育について知りたい。
- 若い人と話したら「私たちは絶望から始まった」と言われた。
- 生活保護を受ける人に対して「ズルい」という若い人がいる。
- 個人が大切にされない理由は？
- 政治に甘くて弱者に厳しい。
- ゲノム編集技術で筋肉量を増やしたマダイ使用のハンバーガーが京都大学で販売されている。今後の影響が分からないのに恐ろしい。
- 日本がどんどん怖い方向へ行っている気がして不安。
- 香害、マスク、包括的性教育。

委員の感想

- 参加者の方の「話したい」「語りたい」という想いの熱量がすごく、終始圧倒されてしまいました。話題も豊富、どんどん話が広がりました。(奥田朝夏)
- 答えがない思いや経験を言葉にしたら、言葉が詰まる時間もありました。2択でしか決めて行けない社会ではなく、それぞれの考え方や生き方を認め合える社会であれば、未来は絶望ではなく喜びに溢れてるはずでは？そんな思いもシェアする時間でした。(坂尻美妙)
- 顔を見て、初めて会う人と話す。日ごろ考えていたことを共有する。すごく大切な時間でした。(蒔田直子)
- 落ち着く空間で、安心して、自分が話したいことを共有でき、素敵な出会いがあったひとときでした。(木戸さやか)

今回は半分以上の参加者が初めてお会いする方で、お申し込みの時に「話すことが苦手なので皆さんの意見を聞くだけで」と書かれていた方も他の方もイキイキと話されていたのを見ると、安心して語り合うためのルールを設けたのが良かったように思いましたし、このような場を設けることの大切さも感じました。次年度も「語り合う場」を開催していきますので、ぜひたくさんの組合員に参加していただきたいです。



エコロニュース

エコロ座談会開催しました。

エコロ委員会

今回は洛北支部・御所の森クラブにお招きいただき「エコロ座談会」を15名の組合員参加で開催しました。

「エコロ座談会」は、使ったことある人もない人も、ケアすることで参加したことがある人も、よくわからない人も、「エコロたすけあい制度」について気軽に話し合い、何でも聞ける会です。

まずは参加者の皆さんの自己紹介と「エコロたすけあい制度」を使ったことがあるか、どんなときに使ったか？制度の気になる点などを伺いました。

エコロ委員から制度の概要と制度の改定時にこだわったところ、最近の事例などをお話しました。

御所の森クラブで60, 70, 80歳のお誕生日のお祝い申請を忘れないよう声を掛け合っていたり、ご自分がケアに入られた際のお話、こんなときに使えるね！など限られた時間内でしたが沢山お話をしました。使いにくい点や改善してほしい点など沢山のご意見をいただきました。

こうしてみんなんで話し合うことで出た意見や疑問などを参考に、今後もっと使いやすく、より良い制度に変えていくことができます。

「エコロたすけあい制度」は私達組合員が自分たちでつくる制度です。自分たちの住む地域で組合員同士が顔見知りになり「いいよ！お互いさま」で

お手伝いできる「たすけあえる地域づくり」を目指しています。

たすけあうつながりづくりの第一歩にエコロ座談会を開催してみませんか？

エコロ委員会がお伺いします。

活発な意見や質問、体験談を話されていて、仲間どうしが声を掛け合っつつなっている様子がよくわかりました。ひとりひとりのあつたかい気持ちでつながっている、そんな印象を受けました。これからこの輪をこのつながりを大切に、もっと広がっていくといいですね！

●2月度の給付ケア件数

給付No.	項目	件数
9	困ったとき・手伝ってほしいときのケア	8
10	産前産後・入院・通院・在宅療養のときのケア	2
12	子育て中・介護中の加入者がリフレッシュしたいとき、儀式や行事に参加するときのケア	2
14	共同購入品を預かってほしい・届けてほしいときのケア	31
16	誕生日のお祝い（満60歳以降10年ごとに）	2
17	出産のお祝い	5

エピソードをお寄せください

QRコードからGoogleフォームで、またはお好きな用紙に記入し配送時に「エコロ委員会宛て」で提出してください。字数等の制限は特にありません。お名前・支部を明記してください。お寄せいただいたエピソードはエコロ委員会においてエコロニュースまたは組合員活動で活用させていただきます。（寄稿者の実名は伏せて活用します）




<https://bit.ly/3BVMgO1>

2023春の
仲間づくり
キャンペーン

開催期間：3/20(月)～6/2(金)

今回のサンプルは
鶏モモ肉・ムネ肉セット 250g

大切に育てた
守り育てた
丹精國種
国産鶏種



詳しくはキャンペーンチラシまたはホームページをご覧ください



https://kyoto.seikatsuclub.coop/event/2023spring_index.html

個人情報部分につき
ホームページでの掲載は
控えさせていただきます

How to

エル・コープ

知ってましたか？こんなことやあんなこと。加入説明の時に聞いた気がするけど、どうするんだったかな？

生活クラブを上手に活用していくために、加入したばかりの方からベテラン組合員さんまでみなさんに知っておいていただきたいことを毎回お伝えしていきます。

今回はお問い合わせの多い「回収するもの」「回収していないもの」についてです。

回収するもの

●ピッキング袋

(消費材が入ってくるラベルが付いた袋)
↓ラベルは引きちぎって返してください！
野菜が入って届く手付きの袋)

●卵のパック

(汚れたり、破けていないもの。
温泉卵の容器は×)

●牛乳びん

●牛乳びんのふたとサイドスコア

(ふたのすぐ下の部分)

●Rマークの付いたびん

(ドレッシング用 広口びん、中口びん、360ml、5000ml、9000mlの6種類)

●一升びん

●配送に使うもの

折りたたみコンテナや白い発砲スチロールの箱、保冷剤、青い仕切りやスポンジ状の仕切り

●カタログを入れている通い袋

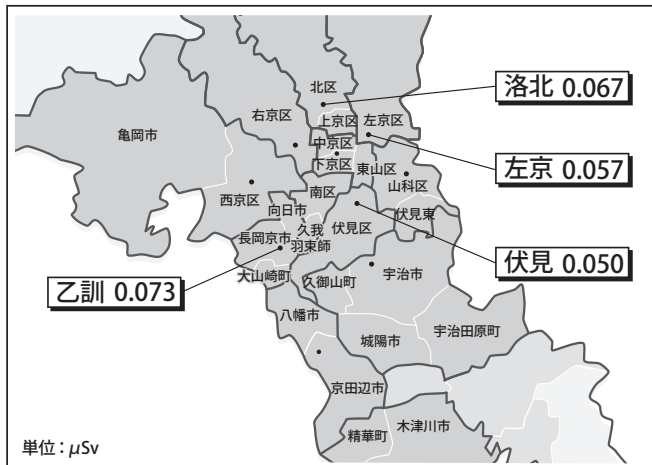
●回収していないもの

●カタログ類

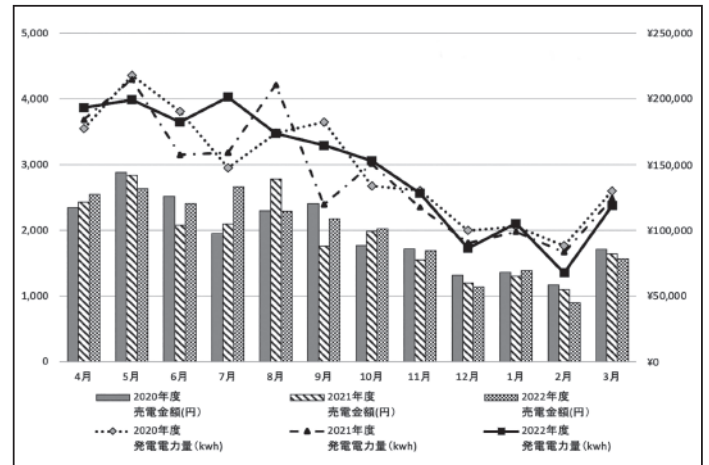
●Rマークのついていないびん

●牛乳びん以外のふた

●放射線測定活動報告 2023年3月測定



●東センター太陽光発電ありがとSUN発電状況



理事会だより

2022年度 第12回 理事会報告
(2023年4月3日開催)

＝討議検討事項＝

- 2023年度総代会議案内容について検討しました。
- 「福祉たすけあい活動拠点」建設基本構想について検討しました。

＝討議決定事項＝

- 2023年度総代会議案を決定しました。

＝報告承認事項＝

- エコロひろば4件の申請を承認しました。
- 子育てミーティング活動報告と今後の展開について承認しました。
- ブランディングPJでInstagramの公式アカウント取得と運用に関するルールの策定について承認しました。

＝報告確認事項＝

- 地域政策のすすめ方について確認しました。
- 2023年度総代会の準備スケジュールを確認しました。
- エルパーク推進の取り組みの報告を確認しました。
- 5/30(火)に「ビジョンフード鶏肉学習会」を開催することを確認しました。 ほか

その他の支部・委員会イベント

●左京支部

一乗寺くらぶルームでは、毎月さまざまな企画を開催しています。5月はもりつちコンポスト茶話会や帯結びの会を予定しています。詳しい内容はくらぶルームだよりにてご確認ください。皆様のご参加お待ちしております♪

編集後記

最近やさいBOXに京セリやアレッタなどが入ってきて、冬から春になったと感じる。冬野菜といえばターサイが届いた時は初めて見る形にびっくりした。たまに「帽子みたいな野菜はなに？」と聞かれる。先日組合員さんたちとその話になり、ターサイが届くと本当に頭にのせる人がいることがわかった。いくら帽子みたいでも本当に頭にのせる人がいるなんて、さすが関西人。今度届いたら私もやってみようかな。逆にすると土が出てくるので、のせる時は注意してください(笑)



生活クラブ京都エル・コープ 組織状況

組合員数：6,677名 前月比 20名減
供給高：119,571,019円 (一人当たり17,907円)

2023.3.20現在

おいなしな 次号、142号は
2023年6月5日発行です

★

おいなしな はウェブサイトでも閲覧できるようになりました!

<http://kyoto.seikatsuclub.coop>

知ろう! 消費材!

リレー生産者交流会

●秋川牧園：丹精國鶏

開催日：5月30日(火) 10:00～13:00
会場：西センター



●丸きんまんじゅう：和菓子、洋菓子

開催日：6月30日(金) 10:00～12:00
会場：一乗寺くらぶルーム



●豆伍心：豆腐、揚げ

開催日：6月21日(水) 10:00～12:00
会場：バンビオ(長岡京市中央生涯学習センター)



●角谷文治郎商店：本みりん

開催日：6月(日時未定)
会場：東センター



●大矢商店：こんにやく

開催日：6月27日(火) 10:00～12:00
会場：京エコロジーセンター調理室



●信州八ヶ塔会：りんご

開催日：6月(日時未定)
会場：未定



●ニューオークボ：パスタ

開催日：6月29日(木) 10:30～13:00
会場：京田辺市立中部住民センター「せせらぎ」

●日本果実工業：みかんジュース、まぐろ油漬缶

開催日：7月(日時未定)
会場：未定



●新生酪農：牛乳、ヨーグルト

開催日：7月(日時未定)
会場：未定

●月島食品工業：マーガリン、チョコレート

開催日：7月(日時未定)
会場：未定

●トーエー食品：ノンカップ麺

開催日：7月15日(土) 10:00～12:30
会場：Free space ゆるり(御室)

●私市醸造：酢

開催日：9月(日時未定)
会場：未定

○チラシ等でもご案内しておりました6月開催予定の黒富士農場(消費材：産直放牧卵)の生産者交流会は諸事情により中止になりました。



※2023年4月10日時点での情報です。
最新情報はホームページをご覧ください。
https://kyoto.seikatsuclub.coop/event/relay_kouryu2023_index.html

